

大阪中央監督署からのお知らせコーナー

「安全の見える化」事例紹介コーナー

常設展示を開始しました。

大阪中央労働基準監督署では、労働災害の減少を図るため、労使の自主的な安全衛生活動を促進し、健康が確保され安全で安心な職場の実現を目指し、平成26年10月1日から、「安全の見える化」事例や労働災害事例等の常設展示を開始しました。

「安全見える化運動」は、昨年度から大阪労働局が独自に進めている取組であり、職場に潜む危険を写真やイラストなどにより、目に見える形にすることによって効果的に安全衛生活動を展開するものです。

府内のすべての事業場への周知、広報を進めることにより、危険への「気づき」を高め、より安全な「考動」を促し、労働災害の減少を目指します。



場 所：大阪府中央区森ノ宮中央1-15-10 大阪中央労働総合庁舎
(大阪中央労働基準監督署の1階)

開館時間：9時～17時 (土・日・祝日、年末年始は休館)

入館料：無料

展示内容：★安全衛生管理体制・安全衛生活動の見える化
★安全衛生情報・危険を防止するための見える化
★健康障害を防止するための見える化 などの事例
★労働災害事例と再発防止対策

※企業規模、業種を問わず、取り組むことができる効果的な活動です。

なお、「安全の見える化」事例は、昨年度、大阪労働局長表彰の受賞作品を中心に展示しており、今後、新たな「安全の見える化」事例を追加していく予定です。

* 駐車場の狭隘の為、公共交通機関のご利用をお願いします。